

入院診療計画書

平成 年 月 日

特別な栄養管理の必要性: 有・無

病棟:()

様

診断名: 大腸切除術 ver. 1

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

ご家族サイン欄:

	入院日～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目～退院日
安静度・リハビリ・退院	・病棟内を自由に歩くことができます。		・ベッドに寝たまま安静にしてください。	・初回歩行時は、看護師が付き添います。その後は自由に歩けます。 ・回復にむけてなるべく体を動かしていきます。	・院内を自由に歩くことができます。				・症状を確認し、問題がなければ退院ができます。
食事	・夕食まで流動食が摂れます。 ・水分(水、茶)は夜9時まで摂れます。	・飲んだり食べたりできません。	・手術後、医師の許可が出てから水を口に含むことができます。むせなければ、水を飲むことができます。	・食事はできませんが、水・お茶は摂れます。	・朝食から流動食が摂れます。		・朝から5分粥食が摂れます。	・朝から全粥食が摂れます。	・手術後7日目より常食が摂れます。
注射・薬剤	・処方された下剤を内服します。	・医師から指示された薬のみ、少量の水で内服することができます。	・点滴があります。 ・痛み止めと胃薬を飲みます。						
検査				・胸部と腹部のレントゲンがあります。 ・採血があります。		・胸部と腹部のレントゲンがあります。 ・採血があります。		・採血があります。	
処置	・看護師がお臍のそうじをします。	・手術室に行く前に、全ての衣類を脱ぎ、T字帯、弾性ストッキングを着用します。	・マスクを着け、酸素吸入を行います。 ・手術室で痛みどめの管を背中に入れます。 ・心電図モニターをつけます。	・歩行後、弾性ストッキングを外します。 ・心電図モニターを外します。	・背中痛みどめの管を抜きます。				・医師が創の状態を確認し術後7日目を目安に抜糸します。
清潔	・シャワーをしていただきます。 ・手術に備え、歯磨きをしてください。	・朝の歯磨きを必ずしてください。		・看護師が蒸しタオルで体を拭きます。	・シャワーができます。				
排泄	・歩いてトイレに行くことができます。		・手術室で尿を出すための管を入れます。	・歩くことができれば、尿の管を抜きます。 ・尿の管を抜いた後は、歩いてトイレに行くことができます。	・歩いてトイレに行くことができます。				
患者様及びご家族への説明	・医師が手術に関する説明をします。 ・麻酔科医師による手術前の診察があります。 ・看護師が入院後の生活、入院・手術に必要な物品の説明をします。		・医師から手術結果についての説明があります。						・医師が退院について説明します。 ・薬剤師が退院後の薬の内容と管理について説明します。 ・看護師が退院後について説明します。

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については入院時での予定です。